

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 7年 6月 27日

事業所名 このこのビレッジ八王子追分

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				
	②	職員の配置数は適切である	○			有給休暇なども計画的にとれるよう台帳を作成しています	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○				障害特性に応じた介助器具などを整備するようにしています
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○				定期的に職員会議、ケース会議を行い、全職員の共有と業務改善に努めつきます
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				毎年、年1回保護者様方にアンケート形式で実施しています
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				自教室HPにて結果を公表しています
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○				一昨年度に第三者評価を受審をしており、それを元に業務改善を実施していきます
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○				
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				独自のアセスメント表、ケア表を元に支援計画を策定しています
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○			今年度、新たなツール導入を調整しており、業務改善につなげてまいります
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				活動内容を事前に打ち合わせ全職員で共有するようにしています
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				月ごと、季節ごとの活動も取り入れています
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			長期休暇にはじっくり時間をかけた課題に取り組んでいます	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				重症児が主のため、個別活動が中心になりますが、全体活動も取り入れた支援計画を策定するようにしています
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	○			役割分担を明示化するようにしています	当日の役割、担当業務をボードに表し、ミスを生まないようにしています
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		送迎業務のため、翌朝の実施としています	個別の支援内容だけでなく、共通の制作活動についても、振り返りの中で共有するようにしています
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				各自、帰宅前に気付きのメモを習慣化しており、またそのメモを全員に回覧することになっています
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っている	○				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	○				主には児童発達支援管理者、 主担当看護師が出席するように している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡）を適切に行っている	○				年間予定等を保護者様を通じ共 有し、送迎対応を通して個別の 連絡事項等を交換するようにし ています
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○				重心の事業所ですので、各自の 担当医、及び地域機関との連携 を取るようにしています
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	○				就学前の利用施設との連携を 取るよう進めています
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	○				まだ卒業児童は少数ですが、保 護者様を通じて情報提供を行う ようにしています
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	○				
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある		○			感染症対策を行いながら、可能 な範囲で進めていくようにします
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	○				
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	○			保護者様方との個々 の連絡網を利用して ます	ご利用の都度の連絡帳、また SNSでの連絡網により情報共有 するようにしています
保護者への説	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	○				
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	○				契約の際に詳細を説明するとと もに、都度ご説明する機会を作 るようにしています
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している		○			感染症対策を行いながら、開催 を調整しています
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応している	○				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
明 責 任 等	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に 対して発信している	○				月毎の会報、及び日々の活動 はSNSを通じ連絡事項とともに 発信しています
	③⑤	個人情報に十分注意している	○				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	○				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っている		○			感染症予防の観点もありますが、児童のプライバシーの点か ら本年度も実施はしていません
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知している	○				各種マニュアルは作成済み、定 期的に確認をしていきます
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	○				定期的な避難訓練などは、継続 してきます
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている	○				虐待防止研修は定期的な開催 を継続していきます
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し理解を得た上で、放課 後等デイサービス計画に記載している	○				児童の心身の状況に応じて 様々なケースを想定して、職員 と共通理解に努めています
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	○			各自のケア表を準備 している	各自の医師の指示書、及び保 護者様方からのヒアリングによ り、個別のケア表を準備し活用 しています
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	○			ヒヤリハットは、適宜 職員全員で共有でき る仕組みがあります	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。